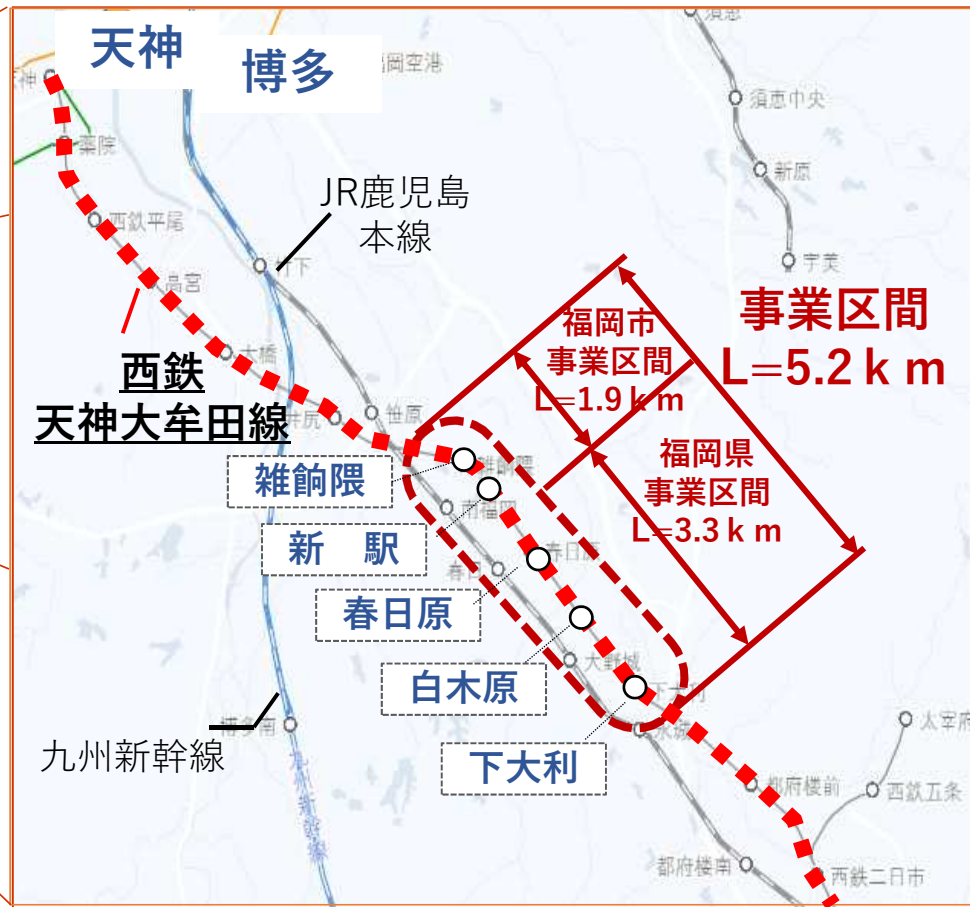
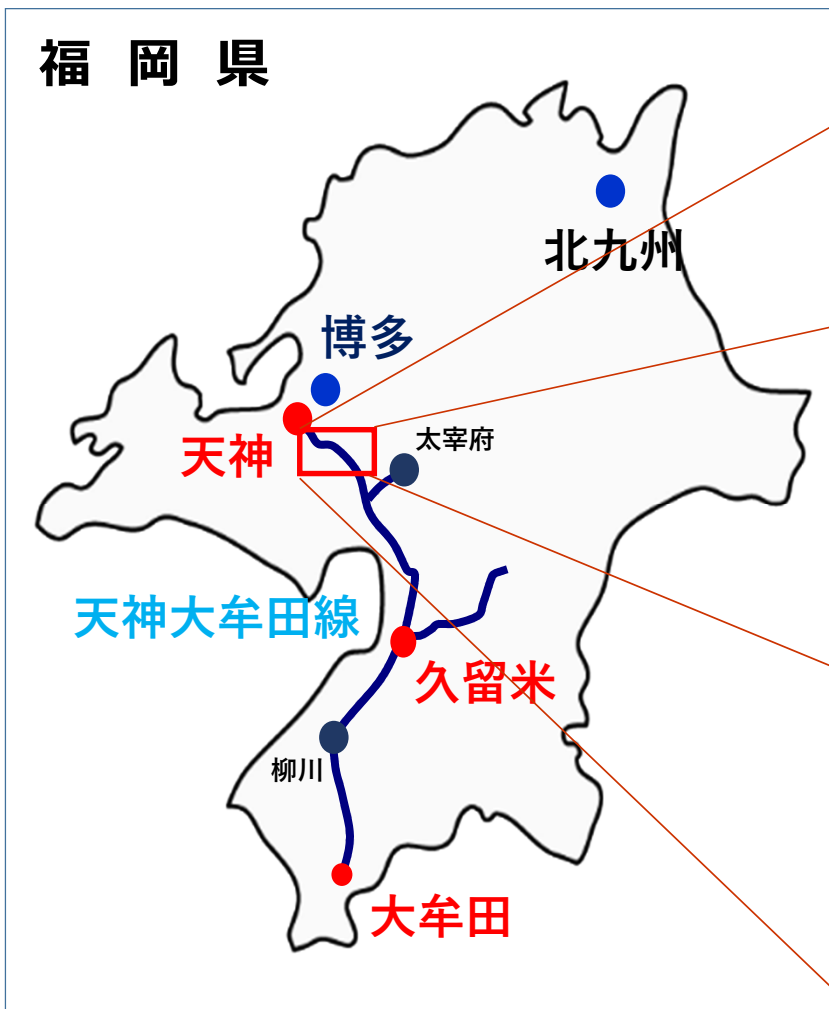

「これからの鉄道沿線における持続可能なまちづくりを考える」
～with/afterコロナのニューノーマル時代を迎えての戦略
西鉄天神大牟田線 高架下における取り組みについて

2022.5.23

西日本鉄道株式会社

まちづくり・交通・観光推進部



隣接行政：福岡市・大野城市・春日市

| 取り組みエリアの設定 |

- 高架延長が約5.2kmと長いため、駅勢圏や周辺環境等を踏まえた取り組みエリアを設定
- エリア毎の特性を活かしたまちづくりを行う



新駅エリア

- 新駅周辺開発により、エリアイメージが一変する
- 駅西側に商店街が立地

春日原駅エリア

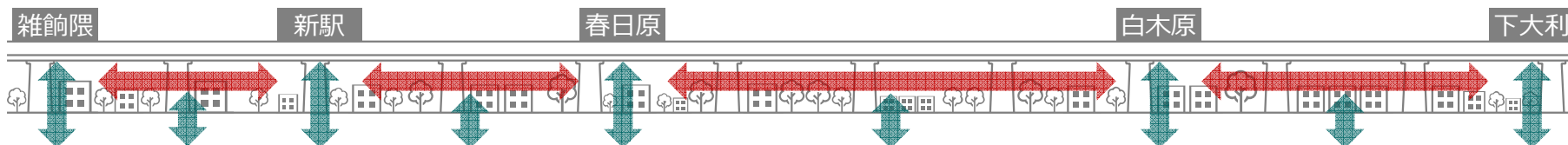
- 駅周辺に商店街・イオンが立地
- 行政施設の最寄駅で、昼間人口が多い
- 路線バスと結節しており、広域から人が集まる

春日原～白木原駅間エリア

- 大野城市が高架下に遊歩道を整備(後述)

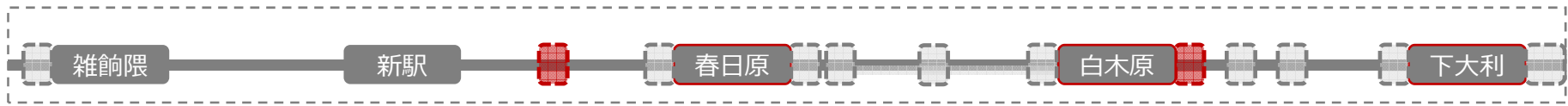
白木原～下大利駅エリア

- 大野城市が広幅員歩道、大屋根広場、交流施設を整備(後述)
- 路線バスと結節しており、広域から人が集まる



南北のつながり / 東西のひろがり を創出し、駅や高架下のにぎわいをまち全体へ波及させる

駅部	【西鉄】店舗(スーパー・飲食・サービス等) 等
駅間部	【行政】駐輪場・歩道・広場 【西鉄】店舗(飲食・サービス等)・駐車場 等



各駅の新設

春日原駅デザインコンセプト「人が集う 歴史を感じる ゆとりのエントランス」
 イメージカラー：春日原の由来である善かすみ→桜色
 イメージマテリアル：ガラスの匂玉→ガラス

白木原駅デザインコンセプト「ここから始まる 人と人とのコミュニティエントランス」
 イメージカラー：牛堀川、御笠川の水→薄水色
 イメージマテリアル：白木原駅付近の大野小学校のセンダンの木→木

下大利駅デザインコンセプト「古(いにしえ)と縁につながる やすらぎのエントランス」
 イメージカラー：大野城跡、水城の自然→若草色
 イメージマテリアル：水城の土塁→土

大野城市による広場・遊歩道整備

日常的に市民が集う越いの広場

- 幅広い利用可能な広場は、日常的に集うことのできる憩いの広場として整備します。
- 子どもが安全に遊べる広場とウッドデッキステージを広場中央に設置します。
- 南北両方向には、ウォールとベンチのハイポイント設置可能なオープンスペースを確保します。

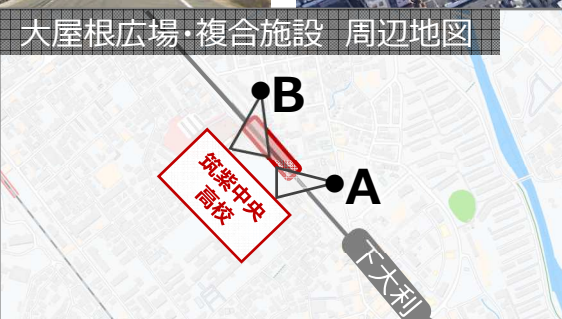
市民の健康増進を支えるウェルネス広場

- 幅広い世代が気軽に集える市民の健康増進活動の拠点となるウェルネス広場を設けます。
- 広場中央部には、健康増進がもたらげる可能性を最大限に活かした遊歩道を整備します。
- 白木原駅～下大利駅間の沿線歩道への誘導も確保し、つなぐとします。

西鉄による賑わい施設誘致

使い勝手の良い便利な多目的広場

- 全天候型の広場として多目的に利用可能な広場として整備します。
- 広場の各所に東西の通り抜けスペースを確保し、側面との連携を図ります。
- アットホームなスペースを設けることにより、歩行者が居を止めるくなるような仕掛けを施します。



- 沿線住民、来街者及び学生間の交流や回遊の促進
- 多世代が交流できる複合施設に市内外から人を呼び込むことで賑わいの創出



筑紫中央高校
(R5～新校舎利用開始)

歩行者シェルター・高架下 整備イメージ

